

リーディングDXスクール事業【実践事例】

熊本市立北部中学校（熊本県）

【取組内容②】 オンラインメッセージの実施

外部講師オンラインメッセージ



総合的な学習の時間の単元導入時におけるモチベーションアップやタブレットのアプリ活用（生成AI導入）を目的に、全校生徒に向けて発信を行った。写真左は熊本市北区区長。写真右はNTTコミュニケーションズ講師と本校スタッフ。

生徒会オンラインメッセージ



感染予防対策や時間短縮の観点から、生徒集合型の集会からオンラインでの発信が定着化している。6月に行われた生徒総会もオンラインで行った。また緊急性がある場合も活用した。写真は、自転車事故防止を訴える安全委員会スタッフ。

定例オンライン講話



毎月第1火曜日の朝、学校長からのオンライン講話を開催している。月ごとにテーマを決め、担当職員との対話形式で「生徒に考えさせ、振り返させる」内容を発信している。

内容は次のとおり。（5月）学校教育目標と情報モラル（6月）道徳と朗読（7月）校則改正（9月）人権（10月）進路（11月）生成AI